

産業厚生常任委員会資料

令和元年8月2日

健康福祉部 健康課

目 次

○播磨内陸医務事業組合立 播磨看護専門学校について（経過報告） P 1～3

[別冊 1]

○資料 1 播磨看護専門学校卒業時就職状況及び進学状況 P 1

○資料 2 圏域内公的病院の看護師数に対する播磨看護専門学校卒業生数 P 2

○資料 3 関西国際大学看護学科の状況 P 3

[別冊：参考資料]

○資料 4 兵庫県保健医療計画 抜粋 P 1～10

○資料 5 平成 28 年末兵庫県内看護師等業務従事者集計 抜粋 P 1

○資料 6 加東市民病院における看護師新規採用状況 P 1

○資料 7 神戸新聞記事 抜粋 P 1

播磨内陸医務事業組合立 播磨看護専門学校について（経過報告）

播磨内陸医務事業組合立 播磨看護専門学校（以下、「播磨看護専門学校」という。）は、北播磨地域の医療・看護の充実と質の向上を目的に、西脇市・加西市・加東市・多可町（以下、「構成市町」という。）の3市1町が共同で設置している看護師養成所で、北播磨圏域の看護師養成に寄与しています。

小野市からの「医療系専門学校誘致にむけて」の提案に伴い、令和元年5月20日産業厚生常任委員会において報告していますが、その後の経過について報告します。

【令和元年5月20日以降の経過】

■ 「5市1町及び県民局調整会議」の開催

開催日：令和元年7月12日（金）

議 題：北播磨圏域における看護師の確保策について

参集者：兵庫県北播磨県民局副局长、西脇市長、三木市長、小野市長、加西市長
加東市長、多可町長

1. 協議内容

〈 開催趣旨 〉

- ・小野市の提案（医療系専門学校の誘致）について賛成・反対を決定する場ではないこと。
- ・小野市の提案については検討に入っており、圏域における看護師確保についてメリット・デメリットを協議すること。

〈 協議内容：協議内での主な意見 〉

① 北播磨圏域に関する意見

- ・20年30年先の状況を見越して協議することが重要である。今後は、官から民が担う時代である。
- ・播磨看護専門学校35人、関西国際大学100人の養成に加え、小野市提案の医療系専門学校80人が増加すると北播磨圏域内での看護師養成数は215人/年となる。人口減少、少子化の中、北播磨圏域内に3つの学校は過多となる。
- ・人口推計、国の医療施策等に関連して、将来の北播磨圏域内での看護師需要が変わる。今後の需要について議論する必要がある。

② 播磨看護専門学校に関する意見

- ・播磨看護専門学校の卒業生は、8割以上が北播磨圏域内に就職しており、地元の看護師確保に貢献している。（資料1、2参照）
- ・播磨看護専門学校に代わる民間学校誘致については、複数の課題（※：2-②）が

あり、医師会、病院等関係機関の意見も踏まえた検討が必要である。

- ・播磨看護専門学校に代わる民間学校を誘致された場合、構成市町には負担金と今後の建替え費用、職員派遣等が不要となるメリットがある。
- ・播磨看護専門学校の今後については、構成市町が決定することである。各病院には一定数の看護師が必要であり、民間移管については緻密に検討する必要がある。

③ 医療系専門学校誘致に関する意見

- ・[] についての情報（帝国データバンク 59点。24 専門学校運営の実績がある。看護師以外の医療従事者の確保が可能）
- ・[] の懸念事項については確認が必要である。（経営状況、創業者の意向、撤退の可能性等）
- ・医療系専門学校の誘致については、スピードが必要である。

④ 北播磨総合医療センター、関西国際大学に関する意見

- ・北播磨総合医療センターからの医師講師派遣については、広域連携で派遣しているが苦勞している状況。今後、派遣の見直しも必要。
- ・北播磨総合医療センターでの看護実習生の受け入れについては、現行以上の受入はできない。（養成数が45人増加した場合、現場は対応できない）
- ・北播磨総合医療センターでは、看護師は不足している。
- ・関西国際大学の北播磨総合医療センターへの就職状況は、平成29年度15人、平成30年度18人、平成31年度16人である。（資料3参照）
- ・関西国際大学で外から来ている人は地元へ戻っている。（資料3参照）
- ・関西国際大学では、北播磨圏域に看護師を供給したいとの意向があり、播磨看護専門学校との連携を希望している。

2. 検討課題

- ① 将来の北播磨圏域内の看護師需要について議論が必要である（参考：資料4、5）
- ② 播磨看護専門学校に代えて民間学校を誘致した場合の課題を構成市町で検討する。（※）
 - ・北播磨圏域の看護師確保ができるか（参考：資料6）
 - ・看護師養成定員80人。現行から45人増加に伴う実習受入等について
 - ・医師の講師派遣について
 - ・[] の経営状態の確認
 - ・[] 撤退の可能性 等
- ③ 播磨看護専門学校が現状継続した場合の課題を整理する
 - ・負担金、校舎老朽化に伴う建替え費用について
 - ・医師の講師派遣の確保

3. 今後の予定

- ・ 9月末までに小野市の医療系専門学校誘致の提案に対し、管理者会において方針を決定する。必要に応じて、県民局や病院等の関係者の参加を依頼する。(資料7参照)